

ユーゲント・フィルハーモニカー 第11回定期演奏会

2017年3月25日(土)

開演 13:30 (開場 13:00)

すみだトリフォニーホール 大ホール

M. ラヴェル バレエ音楽《ダフニスとクロエ》第2組曲

M. Ravel: "Daphnis et Chloé" Suite No.2

-- 休憩 --

G. マーラー 交響曲第5番嬰ハ短調

G. Mahler: Symphony No.5 in C-Sharp minor

※開演中は携帯電話の電源をお切り下さい。

※他のお客様のご迷惑となりますので、演奏中のお席の移動はご遠慮ください。

※未就学児をお連れのお客様はモニタールームにてご観覧ください。

ご挨拶

本日は、ユーгент・フィルハーモニカー第11回定期演奏会に足をお運びいただき、誠にありがとうございます。

昨年、第10回演奏会を終えたユーгентフィルですが、今期も福祉施設等での訪問演奏や地方での演奏会など、活動を通して充実した1年間を送ることができました。11年目になりましたが、団員一同新たな気持ちで次の10年につなげていけるよう日々努めてまいりたいと思います。

今回、指揮者には2年ぶりに三河正典先生をお迎えし、個々の力量が試される難曲に挑戦いたします。曲目が決定した段階で不安もございましたが、それぞれが限られた時間の中で真摯に練習に励んでまいりました。毎年のことではありますが、今年も各々で培った個性をぶつけ合うことで、私たちらしい演奏をお届けしたいと考えております。

最後になりますが、今回ご指導いただいた三河正典先生をはじめ、演奏会にお力添えいただいた皆様、そしてご来場いただいた皆様に心より御礼申し上げます。これから新しい10年を迎える私たちを今後ともよろしくお願い申し上げます。

ユーгент・フィルハーモニカー代表 本郷 一真



指揮者紹介



三河 正典 Masanori Mikawa

東京藝術大学作曲科および指揮科に学んだのち、パリ・エコール・ノルマル音楽院に留学、満場一致の首席で卒業。作曲を北村昭、佐藤眞、近藤譲、池野成の各氏に、指揮を小林研一郎、松尾葉子、秋山和慶、河池良智、ドミニク・ルイツの各氏に師事。さらに、ムスティラフ・ロストロポービッチの元で研鑽を積む。第4回ブルー・ダニューブ国際オペラ指揮コンクール第4

位、審査員特別賞受賞。ブルガス歌劇場（ブルガリア）にてヴェルディ作曲「椿姫」を指揮。

これまでに日本フィルハーモニー管弦楽団、読売日本交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー管弦楽団、サンクトペテルブルグ交響楽団、ロシア・トムスクフィルハーモニー管弦楽団、サンクトペテルブルグ・カルペ・ディエム室内管弦楽団、パザルジク交響楽団（ブルガリア）、浙江交響楽団（中国）、小田原フィルハーモニー交響楽団、湘南弦楽合奏団、ヴォーチェ・ソナーレ（合奏団）など、国内外のオーケストラ、合唱団を指揮するほか、新国立劇場、二期会をはじめとするオペラ公演や、サイトウキネンフェスティバル、アルゲリッチ音楽祭などで合唱指揮者、アシスタントコンダクターとしても活動している。2005年～2007年、日本フィルハーモニー交響楽団指揮研究員。

現在、東京藝術大学および東京音楽大学、同大学院指揮科、声楽科（オペラ）講師を務め、後進の指導にも当たっている。ユーグント・フィルには13年から第7回、第8回、第9回定期演奏会に客演。今回で4度目の共演となる。

楽団紹介

Jugend Philharmoniker（ユーグント・フィルハーモニカー）は、一般財団法人日本青年館の音楽行事（全国高等学校選抜オーケストラフェスタ、全日本高等学校選抜オーケストラ・ヨーロッパ公演、日本ユンゲオーケストラ・ヨーロッパ公演）に参加したメンバーが中心となって2006年3月に創設されたオーケストラである。

選抜オーケストラが母体となっているため、メンバーは様々な大学オケ出身のプレイヤーが揃っている。現在、団員約80名を越えるオケにまで成長し、定期演奏会を中心とした活動の他に、福祉施設や普段生のオーケストラに触れる機会のない農村への訪問演奏、その他、行楽施設の各種イベントやテレビ番組での依頼演奏など幅広い活動を行っている。音楽的に人間的に成熟した団体作りに励みながら、「アマチュア・オケだからできること（≡プロオケには出来ないこと）」を追求することを理念としている。

■ 曲紹介

稽古が足りない!?——初演が心配な作曲家たち

新しい作品が初演されるとき、より良い演奏をしてほしいと望むのは、生みの親である作曲科であれば当然のこと。とはいえ、時間やコスト、演奏者、主催者との関係——などさまざまな理由で納得行くまで稽古できなかった、というエピソードは多い。プロが初演する場合、稽古が数回しかないことも珍しくない。（もちろんユーゲント・フィルハーモニカーは今日のために半年間準備しているけれど。）今日演奏される2つの作品は、今でこそ頻繁に演奏され世界中で愛されているものの、生まれた当時は、本番の瞬間まで作曲家をはらはらせていた——。

モーリス・ラヴェル（1875～1937）：《ダフニスとクロエ》第2組曲

古代ギリシャのロンゴスによる恋愛物語を題材にしたバレエ《ダフニスとクロエ》。全3部から成り、そのうちの第3部をそのまま抜粋したのが第2組曲である。バレエ・リュス（ロシア・バレエ団）を率いるディアギレフの依頼で1909年から作曲され、初演は1912年6月にパリのシャトレ座で行われた。

初演に向けて5月に稽古が始まったが、振付けを担当したフォーキンだけでなく、当の依頼人であるディアギレフまでも、ラヴェルの音楽が気に入らず、初演は危うく中止になるところだった。フォーキンは、古代の壺に赤と黒で描かれたような踊りとそれに合うダイナミックな音楽を理想としていたが、ラヴェルが完成させたのは、18世紀後期のフランス絵画のような淡くやわらかな世界。どうにか初演にはこぎつけたものの、当初4回予定されていた上演は2回に減らされ、衣装付きのリハーサルさえカットされてしまった。クロエ役を踊ったカルサヴィナは後に振り返る。「初演当日の朝になっても、稽古は最後までできていませんでした。舞台裏でラヴェルと一緒にリズムをとる練習をしましたが、結局リズムは諦めて、音楽のパターンに従うことにしました。」

物語は、羊飼いのダフニスが、海賊にさらわれた恋人のクロエを、パンの神の力を借りて助け出すというもの。第2組曲は、クロエが助け出され、気を失っていたダフニスが目覚める場面から始まる。パンの神を讃えて二人が踊り、最後には全員の踊りとなって幕となる。

第1曲 夜明け

第2曲 無言劇

第3曲 全員の踊り

グスタフ・マーラー（1860～1911）：交響曲第5番 嬰ハ短調

マーラーの第5交響曲は1901年から1902年にかけて作曲され、1904年10月にケルンにて作曲者の指揮で初演された。それまで交響曲の初演が成功したことのなかったマーラーは、今回こそはと、少しずつ彼の作品の評価が高まっていたケルンを初演地を選んだ。さらに初演に先立って、作品が実際にどのように鳴り響くかを確かめるためのリハーサルがウィーン・フィルによって行われたが（当時マーラーはウィーン在住）、通常であれば1回のところ、2回に増やされた。そのリハーサルを経て彼は楽譜に手直しを加え、初演（結局評価はまちまちだったとのこと）の後、上演の度に改訂を続けた。

1906年3月にはオランダのいくつかの都市で演奏されたが、その前年の年末にマーラーは、稽古の指揮をすることになっているメンゲルベルクに宛ててこう書き送っている。「送っていただいた稽古予定では、少し足りません。交響曲の稽古は絶対に3回は必要です […] さらに、第5交響曲はとても、とても難しいのです。どうか、今回はとりわけ相応の稽古をお願いします。そうでないと恐ろしいことになってしまいます！」この熱意に応えたメンゲルベルクの準備の甲斐あって、演奏自体はマーラーにとって満足の行くものになったが、観客の反応はやはり今ひとつだった……。

たしかに、1時間を超える長大で難解な作品、しかも第2～第4交響曲とは違って声楽を伴わない作品を初めて体験する当時の聴衆に、暖かい反応を求めるのは無理があったようにも思われる。しかし、第1楽章の冒頭で鳴り響くトランペットのファンファーレや、有名なアダージェット（第4楽章）の息の長い旋律をはじめとして、耳に焼きつく魅惑的な旋律やその断片、さらにそれらが作品の随所で、ときに大胆に、ときにさりげなく繰り返されることによる効果は、マーラーの交響曲へ2度目の挑戦となるユーゲントの団員ひとりひとりの思いと重なって、必ずや客席に届くことだろう。

第1部 第1楽章 葬送行進曲。ゆったりと歩むように。厳しく。葬列のように。

第2楽章 嵐のように動きをもって。この上なく激しく。

第2部 第3楽章 スケルツォ。力強く、速すぎないように。

第3部 第4楽章 アダージェット。とても遅く。

第5楽章 ロンド＝フィナーレ。アレグロ。

■ 今期の活動紹介

- 2016 年 3/12 第 10 回定期演奏会（すみだトリフォニーホール 大ホール）
 6/4 依頼演奏 ドリームナイト：よこはま動物園ズーラシア
 6/16 依頼演奏：デイホーム弦巻
 9/16 - 19 第 9 回農村プロジェクト（長野県上田市武石）
 10/15 依頼演奏：ゆうライフ世田谷
 11/27 室内楽演奏会（団内）（大田区民センター 音楽ホール）
 12/17 依頼演奏：デイホーム弦巻
 12/17 依頼演奏：イムス三芳総合病院
 12/23 依頼演奏 クリスマスコンサート：よこはま動物園ズーラシア
- 2017 年 1/9 - 10 合宿（山中湖畔荘 ホテル清溪）
 3/25 第 11 回定期演奏会（すみだトリフォニーホール 大ホール）

■ 依頼演奏

ユーгент・フィルハーモニカーでは学校・老人ホームなどの福祉施設や、その他各種イベントなどでの依頼演奏を受け付けています。詳しくは当団 Web サイトをご覧ください。



よこはま動物園ズーラシアでの
依頼演奏

第 9 回農村プロジェクト
里の秋コンサート



■ 今後の演奏会

第1回地方公演 福島演奏会(仮題)

2017年8月12日(土) 昼公演

於 福島市音楽堂 大ホール

第12回定期演奏会

2018年3月3日(土) 夜公演

於 すみだトリフォニーホール 大ホール

後日ご案内をお送りしますので、アンケート用紙にご連絡先をご記入ください。

お問い合わせ

公式ツイッターアカウント

<http://jugend-phil.com/> (当団 Web サイト)

@jugend_phil : ユーゲント・フィルハーモニカー